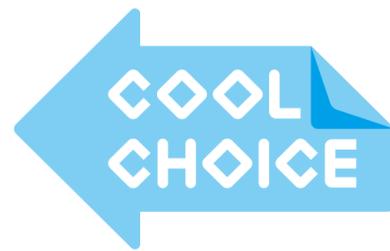


ニセコ高校 2年生と  
意見交換会 実施！  
「温暖化が続くと  
ニセコはどうなる？」



2019年11月、北海道ニセコ高等学校 観光リゾートコースの2年生が、村上敦さん（ドイツ在住の環境ジャーナリスト・ニセコ町環境エネルギー戦略アドバイザー）を講師に迎え、現在の世界の気候危機（温暖化や海面上昇など）について学びました。その上で「このまま温暖化を放っておくとニセコはどうなる？」「ニセコの自然環境を守るためには何をしたらいい？」というテーマで高校生たちが討論会を行いました。

大切なニセコでの暮らしと自然を守るために、高校生の自分たちに何ができるか、何からすべきか。町や企業を巻き込んだアイデアから家庭内でできることまで、大小様々な意見やアイデアが出ました。



未来のために、いま選ぼう。

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2度未満にする（さらに、1.5度に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を26%削減（※2013年度比）する目標を掲げています。「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、いまできるアクションを選ぶ。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。



今を生きる  
私たち一人ひとりの行動が  
未来のニセコ町を創る

Friday  
for future

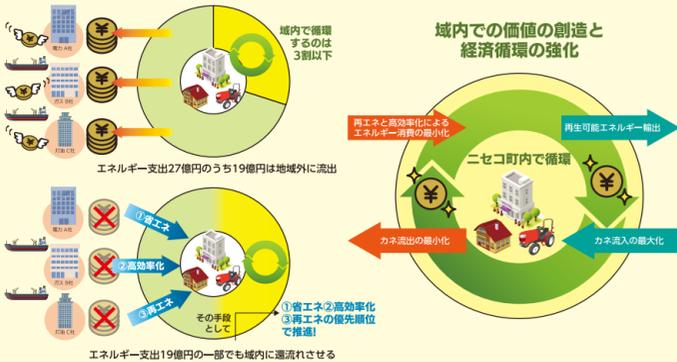


「フライデーフォーフューチャー」とは、世界の子供たちを中心とする地球温暖化への対策を求めるデモ活動です。2018年にスウェーデンの学生グレタ・トゥンベリさんが一人で始めた活動ですが、多くの人の共感を呼び、2019年9月には全世界で400万人以上が参加する大規模なデモ活動につながりました。このデモには男女関係なく子供や保護者、若者、高齢者など様々な人が参加しています。すでに地球温暖化の影響は様々なところで出ており、世界では「気候変動」ではなく「気候危機」と呼ばれるようになってきました。また、各国が目標としている温室効果ガス削減目標を達成するだけでは、地球温暖化の進行を目標とする水準に押しとどめるには不十分であるという報告書もあります。

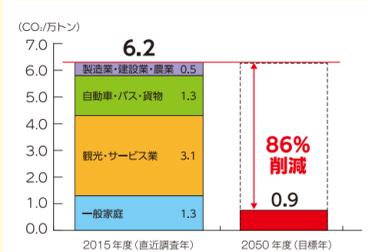
このような状況から、いま世界的では温室効果ガス削減目標の繰り上げと具体的な対策の実行が求められています。一人の行動は小さなものですが、その積み重ねが「フライデーフォーフューチャー」のように大きな動きにもつながります。将来により良い自然環境を残していくためにも、一人一人が地球温暖化に取り組んでいくことが重要です。

ニセコ町が目指す地域内経済循環

- ニセコ町の世帯数2,274×年間エネルギー支出40万円=9億円(1世帯あたりの年間エネルギー支出40万円とする)
- エネルギー総売上高(業務・産業含む)9億円×3倍=27億円(業務・産業で家庭の2倍を支出)
- 域外からのエネルギー輸入額27億円×7割=19.2億円(8億円は町内のGDP増加)



ニセコ町の温室効果ガス削減目標



アクションプランの基本目標は「住民一人当たりの経済活動の活性化とCO<sub>2</sub>削減の両立」です。現在の世代の欲求を満たしつつ、将来世代の生活基盤を保障するために、持続可能な発展(Sustainable Development)を合言葉に、真に「環境モデル都市」としてふさわしい自治体を目指します。

北海道ニセコ町

企画環境課環境モデル都市推進係

〒048-1595 ニセコ町字富士見 47 番地  
Tel 0136-44-2121 Fax 0136-44-3500  
https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/kankyo/model/  
e-mail kankyo-e@town.niseko.lg.jp

携帯・スマホ  
QRコード



環境モデル都市  
Eco Model City

「一人ひとりの行動編」



ニセコ町の  
未来をつくる

大人は口ばかり  
だけど自分たちは  
なにが出来るの？

環境について  
普及啓発する

自転車や歩きを増やして  
車での移動を減らそう

このままだと  
ニセコはどうなる？

お金持ちしか  
住めなくなるかも

観光客は減る  
だろうね

パウダースノーが  
無くなる

未来へ。私たちはきつと出来る。

温暖化は  
やばい

太陽光パネル  
に補助金とか

宿泊施設  
全部 LED 電気

町民にマイバックを

電気自動車を導入  
補助金だせば

雪を利用して  
冷蔵庫みたいに

# 自分家の省エネ化

## まずはこの家電 | 冷蔵庫

を考えてみよう！



IHヒーターや電子レンジ、アイロン、ドライヤーなどは長時間つけっぱなしということはあまりありませんが、実は毎日つけっぱなしになっているもの、それが…冷蔵庫です。

冷蔵庫は、24時間いつもコンセントを入れたまま動き続けていますよね。このため、家庭で電気を最も消費する電化製品なのです。消費電力が大きいものを長時間使い続けると、電気代が家計に大きく響くことにもなります。

考えた必生活えか需活たら品のこと

## ニセコ町の冷蔵庫事情にスポットを当てアンケートを実施しました

### ニセコ町の冷蔵庫事情

2019年、町内の各家庭を対象に電化製品の所有状況をアンケート調査しました。

これによると、全ての世帯に1台ずつ冷蔵庫があり、約18%の世帯では2台以上保有しているという結果になりました。

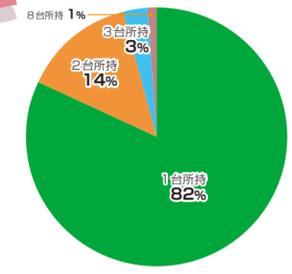
また、冷凍ストッカーは、約3割の世帯で保有されており、主に肉や野菜、魚など生鮮食品の保存のために使用されていることが分かりました。

保有されている冷蔵庫の製造年をみると、10年以上前に製造された冷蔵庫を使っている方が意外と多いことも分かります。

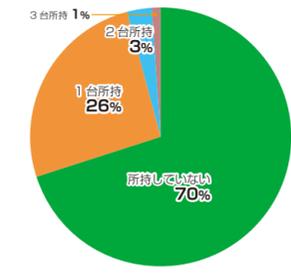
冷蔵庫の平均的な使用年数は約12年(2018年度内閣府調べ)とされています。一つの物を大切に長く使うことは素晴らしいことですが、古い冷蔵庫はエネルギー性能が悪いので消費電力が多くなる傾向にあります。冷蔵庫のみの電気代を計測すると、年間2万円を超えていたというケースも少なくありません。

適切な時期に新しい冷蔵庫へ買い換え、家庭の電気代の削減につなげることをおすすめします。

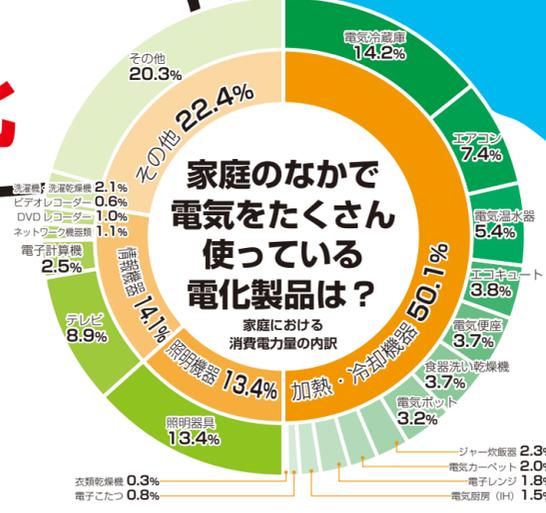
### 冷蔵庫所持台数



### 冷凍ストッカー所持台数



### 所持冷蔵庫の製造年と容量の分布



第2次環境モデル都市アクションプラン (取組5) 家電・設備の省エネ化の支援

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 12 13 17

## 第2次環境モデル都市アクションプラン概要

アクションプランの基本目標は「住民一人当たりの経済活動の活性化とCO2削減の両立」です。現在の世代の欲求を満たしつつ、将来世代の生活基盤を保障するために、持続可能な発展(Sustainable Development)を合言葉に、真に「環境モデル都市」としてふさわしい自治体を目指します。

## まずは意識して行動する事！ 省エネは暮らしも豊かにする 家庭から始める。それが未来を創る大きな一歩

比べてみよう

### 電気代が気になるアナタへ… 今日からできる省エネ節約術！

冷蔵庫には物を詰め込みすぎないようにしましょう！



ニセコ町内の約25%の世帯で使われている保温式電気ポット。長時間使用しないときはプラグを抜きましょう！



- ①詰め込んだ場合
- ②半分にした場合

①-② 年間消費電力量 約 43kWh Down! CO2 排出量 約 21kg Down! 電気代 約 960円 Down!

- ①ポットに満タンの水 2.2L を入れ沸騰させ、1.2L を使用後、6時間保温状態にした場合
- ②プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合

①-② 年間消費電力量 約 107kWh Down! CO2 排出量 約 52kg Down! 電気代 約 2,360円 Down!

## 買い換えで省エネ！

家電機器の性能は向上しているため、買い換えで大きな省エネが図れます。買い換えるときは、家族の人数や利用頻度、部屋の広さにあったサイズや機能を選ぶよう心がけて賢く選びましょう。

たとえば、2004年頃に買った定格内容積 401～450リットルの冷蔵庫を、同程度の大きさで現在販売中の省エネ型の冷蔵庫に買い換えた場合、省エネ効果により年間 9,000円前後の節約効果が期待されるほか、CO2も年間 180kg 前後削減され、ニセコ町全体のCO2削減目標達成にもつながります！

こうした家電の買い換えによる省エネ効果は、環境省が作成した省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」で簡単に比較することができます。(登録不要でどなたでも無料で利用可能) 家電の買い換えご検討の方は、ぜひ一度ご利用ください！



しんきゅうさん